

レオナルドの 手稿、素描・素画に関する 基礎的研究

裾分一弘 著

◇研究篇◇

◇資料篇◇

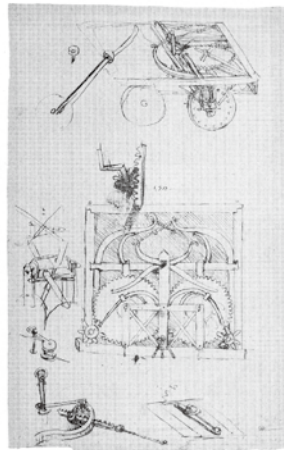


図 6-1-3-6 「アトランティコ手稿」 812r
(旧・296v・a)
ミラノ、アンブロジアーナ図書館

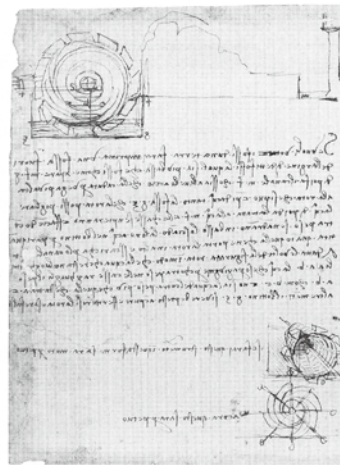


図 6-1-4-1 「アトランティコ手稿」 754r
(旧・278r・b)
ミラノ、アンブロジアーナ図書館

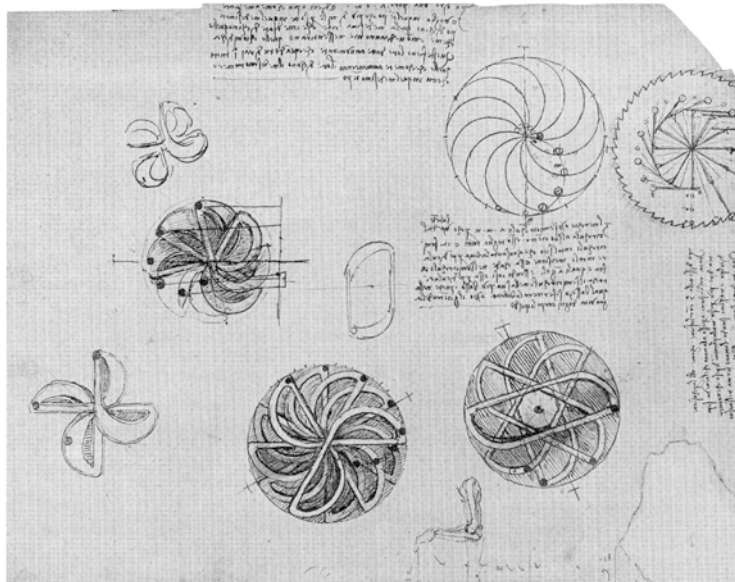


図 6-1-4-2 「アトランティコ手稿」 1062r (旧・384r・a) ミラノ、アンブロジアーナ図書館

中央公論美術出版

現存するレオナルドの絵画作品は、意外なほど少ない。厳密には9点前後といわれる。他方、レオナルドに特定できる手稿、素描・素画の類は膨大な量が現存し、約4000紙葉といわれる。この場合、手稿とは一般的にレオナルドの座右の手帖を意味し、素描とは芸術的な表現、つまり絵画・彫刻の制作を前提とする構成・構図、ないしは写生・習作の類、また、素画とは技術的・科学的な機械・工具、日常生活に関連する考案・工夫を示す図解・設計の類である。レオナルドは我々に何を遺したか、我々が相続したレオナルドの遺産は何か、その直接資料の上にもこそ、レオナルド研究は築かれるべきものである。そのためには、関連する直接資料の総てが収集され、整理され、利用できなければならないという著者の確信に立ち、手稿、素画・素描を統一的に整理し、広範で正確な情報・資料を提供し、レオナルド研究に寄与することを目的とする。

また、新たなるレオナルド研究に関する方法と手順、あるいは進むべき方法と問題点を示す論攷よりなる基礎的研究。

目次

研究篇】

凡 例

挿図目次

付表目次

序 レオナルド研究の現状および本書の意図

第一章 座右の画帖・手帖

- 一節 1480年ころの素描目録
- 二節 手帖の効用
- 三節 編集作業
- 四節 周辺の記録

第二章 散逸

- 一節 散逸の記録
- 二節 デューラー「ドレスデンの画帖」
- 三節 「ホイヘンス稿本」—パノフスキー教授に捧げる—
- 四節 ジェルリ『レオナルド素描集』について
付 リープリによる被害

第三章 確認(一)

- 一節 「アトランティコ手稿」と「ウインザー紙葉」
—親子の紙葉について—
- 二節 紙葉の透し模様
- 三節 手稿本、素描・素画
- 四節 単葉で収蔵される手稿、素描・素画

第四章 確認(二)

- 一節 「ウルビノ稿本」の編集
付・一「失われた稿本・A・」
付・二「失われた稿本・W・」
付・三「失われた稿本・M・」
- 二節 「ウルビノ稿本」—現存手稿との文節の照合—
- 三節 「ウルビノ稿本」—現存紙葉との図の照合—
- 四節 「ウルビノ稿本」の信憑性の問題
付『絵画論』初版

第五章 筆跡・描線

- 一節 周辺の証言
- 二節 筆 跡
付・一 両手利き
付・二 記 名
付・三 指 紋
- 三節 描 線
- 四節 天地・左右の問題

第六章 内 容

一節 「アトランティコ手稿」

- (一) 紹 介
- (二) 紙葉195表の一行について
- (三) 自然力利用—トーニ博士に捧げる—
- (四) 永久運動

二節 「ウインザー紙葉」「解剖手稿」

- (一) 素描・素画—芸術的眞と科学的眞—
- (二) 人と機械
- (三) 解剖学—「お前のためにのみ私の時間はある」—
- (四) いわゆる「紙葉・A・」について

三節「マドリッド手稿」

- (一) レオナルドの蔵書
- (二) 比例論のある系譜について—マッカーニ教授に捧げる—
- (三) レオナルドの無学

四節 「ウルビノ稿本」

- (一) 絵画学
- (二) 「諸芸術比較論」
付「諸芸術比較論」拾遺
- (三) レオナルドとミケランジェロ—不和の関係について—
付・一 ミケランジェロの「諸芸術比較論」
付・二 ヴァザーリの「諸芸術比較論」
- (四) 画家如何にあるべきか —『絵画論』第二書—

結 学としてのレオナルド研究

著者の履歴および研究業績等一覧(平成一六年四月現在)
著者あとがき

【資料篇】

図 目 次

表 目 次

図

表

レオナルドの年譜(手稿、素描・素画に見る自伝)

文献目録

索 引

図見本



図 1-1-14 「ウィンザー-紙巻」
1245a ウィンザー、王座
素描

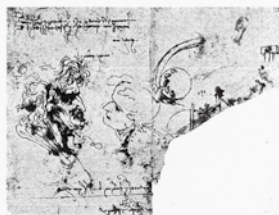


図 1-1-15a 「人物」の習作および「機械工具」の素描
フィレンツェ、ウフィツィ美術館



図 1-1-15b 「機械工具」の素描 (1-1-15a の裏面)
フィレンツェ、ウフィツィ美術館

28

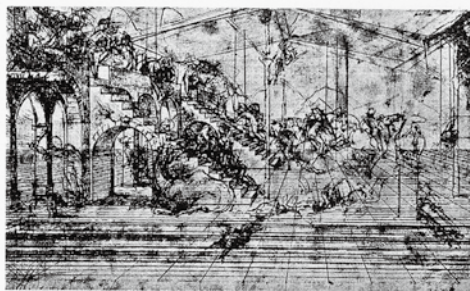


図 1-1-16 「三博士礼拝」のための習作 フィレンツェ、ウフィツィ美術館



図 1-1-17 「三博士礼拝」のための習作
ケルン、ヴァルラーフ・リヒター美術館



図 1-1-18 「三博士礼拝」のための習作
パリ、ルーヴル美術館

29

(約45%縮小)

組見本

第三節 解説 (一)

30 (Fol. 48, Ric. 32)

1. V.
2. (省略)
3. No. 228
4. 人体比例
5. 34.4×24.5
6. 1490-91 年ごろ
7. Bod. 171; Popph. 216; Ric. Pl. XIII; Leo. & Ven. 12 (Fol. 30)
8. Ric. 343; Leo. & Ven. pp. 216-7
9. E. Solmi, Scritti Vinciani, La Nuova Italiana, Firenze, 1976, CXCV.



(Fol. 30)

31 (Fol. 48, Ric. 32)

1. V.
2. (省略)
3. No. 229
4. 人体の計測および人物の習作
5. 28.0×22.2
6. 1490-91 年ごろ
7. Leo. & Ven. 15 (Fol. 31a, b)
8. Leo. & Ven. p. 224
- 9.



(Fol. 31a)



(Fol. 31b)

32 (Fol. 60, Ric. -)

1. V.
2. (省略)
3. Inv. 354
4. 「最後の晩餐」のための習作
5. 25.9×39.4
6. 1493-94 年ごろ
7. Bod. 252; Popph. 162; Ric. Pl. XIII; Leo. & Ven. 19 (Fol. 32)
8. Leo. & Ven. p. 232
- 9.



(Fol. 32)

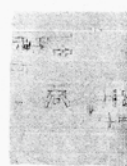
183

27 (Fol. 47, Ric. -)

1. Tru. L.
2. (省略)
3. No. 15574
4. r. 顔面の測定 v. 工具の組立
5. 19.7×16.0
6. 1489-90 年ごろ
7. Fol. (1975-1), Tru. 4; r. Bod. 212; Ric. Pl. XII (Fol. 27a, b)
8. Fol. (1975-1), pp. 12-3, Ric. 319
- 9.



(Fol. 27a)



(Fol. 27b)

28 (Fol. 47, Ric. -)

1. Tru. L.
2. (省略)
3. No. 15575
4. r. 顔面の研究 v. 工具の組立
5. 14.0×11.0
6. 1489-90 年ごろ
7. Fol. (1975-1), Tru. 5 (Fol. 28a, b, c, d)
8. Fol. (1975-1), p. 3, Ric. 320
- 9.



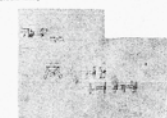
(Fol. 28a)



(Fol. 28b)



(Fol. 28c)



(Fol. 28d)

29 (Fol. 43, Ric. 32)

1. V.
2. Galleria dell'Accademia, Venezia
3. No. 235
4. r. 武器
5. v. 機械工具
6. 29.3×20.8
7. 1483 年ごろ
8. Leo. & Ven. 9; r. Com. Vin. 72; Popph. 304 (Fol. 29a, b)
9. Leo. & Ven. p. 208; r. Com. Vin. 72



(Fol. 29a)



(Fol. 29b)

182

(約45%縮小)

著者略歴

裾分一弘
すそわけ かずひろ

元学習院大学文学部教授(現学習院大学
名誉教授)

大正13年 岡山県倉敷市に生まれる
昭和26年 九州大学文学部哲学科卒・同大学大学院
入学
昭和45-46年 ローマ大学文学・哲学学部付属人文学研
究所(招聘)
昭和55-56年 フィレンツェ市、ドイツ美術史研究所(学
習院大学より派遣)
平成2年 プレッシア市、レオナルド研究所(招聘)
平成5-6年 ゼノヴァ大学科学史研究所(日独ベルリ
ンセンターによる招聘)

ほか、フィレンツェ、ミュンヘンのドイツ美術史研究所、
カルフォルニア大学エルマー・ベルト研究所にて、レオ
ナルド研究に専念。

【著者の主要著書・論文】

レオナルド・ダ・ヴィンチの「絵画論」攷／レオナルド
・ダ・ヴィンチ手稿による自伝―／レオナルドに会う
日／レオナルド「マドリッド手稿」・『解剖手稿』(共訳)
「イタリア・ルネサンスの芸術論研究」他



B5判 上製函入(2分冊)
818頁 挿図500点

定価 68,250円(本体65,000円)
ISBN4-8055-0493-5 C3070

本書の特色

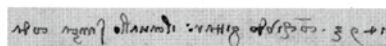
- 1) 約4000紙葉ともいわれる膨大なレオナルドの手稿、素描・素画を徹底的に点検し、その内容、年代、資料としての価値、収蔵機関など、あらゆる情報を提供する。
- 2) イタリア・ルネサンスを一筋に研究されてきた著者の珠玉のレオナルド研究論攷48編を収録する。
- 3) 「レオナルドの年譜(手稿、素描・素画に見る自伝)」では年・月・日を伴うメモ、記録をもとに、不足する部分は周辺の諸資料により補ったいわば彼自身による自伝となっている。

第五章 筆跡・描線

2) 「マドリッド手稿Ⅱ」 151v (1493年12月20日)



【挿図 5-2-2a】



【挿図 5-2-2b】

(翻刻) A di 20 di dicembre 1493 conchiudo gittare il cavallo senza coda e a diacere, perchè essendo esso cavallo braccia 12, a gittarlo pe' piedi anderebbe vicino all'acqua uno braccio, e levare il teren non posso, e l'umido mi potrebe nocere, perchè la forma starà assai are sotto terra, e lla testa vicino all'acqua uno braccio s'impregnerebbe di umidità. E l'gietto non verrebbe... (以下省略)

(80%縮小)

お取り扱いは

中央公論美術出版

<http://www.chukobi.co.jp>

〒104-003 1 東京都中央区京橋 2-8-7

電話 03 (3561) 5993 FAX 03(3561) 5834